H３０（２０１８）

速 報 12 月号 NO. 386

編集・発行　一般社団法人広島県臨床検査技師会
事務所 FAX　082-502-6031
発行日　平成 30(2018)年 11 月 30 日

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人 広島県臨床検査技師会

ホームページ　http://www.hiroringi.or.jp/
（モバイルサイト　http://mw.hiroringi.or.jp/ ）

C O N T E N T S

ページ 項 目

レポート≪Report≫

2　第 20 回東部地区学会
3　第 20 回東広島市健康福祉まつり
4　検査と健康展

ご案内 ・お知らせ<< Information >>

5　第 44 会呉地区七夕学会のご案内（延期分）
7　平成 31 年度新春祝賀会のご案内
8　第 36 回広島県医学検査学会（第 5 報）

精度管理責任者育成講習会開催のお知らせ

１２月１日から施行される医療法の改正について日臨技では e-ラーニングを利用して「精度管理責任者育成講習会」を開催しました。
詳しくは、日臨技Ｗｅｂサイトの https://www.jamt.or.jp/studysession/sekininsha/　をご覧ください。

5 類感染症および事項の一部改正について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則第４条第６項の規定に基づき厚生労働大臣が定める５類感染症及び事項の一部を改正する件の施行に伴う各種改正についての通知がきています。
詳しくは、リンク先の PDF をご覧ください。https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000377884.pdf

第 20 回東部地区学会　レポート

平成 30 年 11 月 4 日（日）、福山市生涯学習プラザ（まなびの館ローズコム）にて、第 20 回東部地区学会が開催されました。

今回は一般演題 4 題、特別講演、シンポジウムという内容で会が進みました。

一般演題では血液検査部門が 1 題、生理機能検査部門が 2 題、生化学・免疫検査部門が 1 題でした。東部地区学会は若手技師の登竜門ということもあり、今回も若手技師が多く発表されていました。どれもしっかり研究、検討がされており、とても興味深い内容ばかりで、質疑応答も活発に行われました。

特別講演では、福山市にあるフジゼミ塾長の藤岡克義先生をお招きし、「大切なのは・・つまずき　寄り道　回り道」と題し講演していただきました。藤岡先生のゼミは、非行や不登校、高校中退といった生徒たちを国公立大学や難関私立大学に合格させる奇跡の塾と呼ばれており、先生ご自身もかつて非行に走り、高校を 2 度中退され、20 歳の時に立ち直り大学に進学されたという経験を持たれています。講演では、フジゼミではどのような勉強を行っているか、先生がどうやって大学に合格したかというお話や、ゼミを開くことになったきっかけ、また、親子関係についてなどもお話してくださいました。回り道をすることによって気づけることもあるということを教えていただき、大変貴重な講演となりました。

シンポジウムでは「西日本豪雨災害・広島県の状況」と題し、4 名のシンポジストの方が講演されました。

済生会呉病院の有谿技師には施設の被害状況をお話していただきました。災害当時の写真を公開していただき、当時の被害の大きさやたいへんな苦労を感じ取ることができました。検査機器の水の使用量には驚き、断水時には出来るだけ水を使用しない機器などを準備、把握しておくことが大切であるとおっしゃっていました。

福山市民病院の平田技師は DMAT の対応についてお話されました。各施設の状況把握や避難所の情報収集などの活動内容や、災害が起こった時に DMAT がどのような流れで動いていたのかなど、DMAT の活動について詳しく知ることができました。

広島県赤十字血液センターの山口先生には血液センターの対応についてお話していただきました。血液の搬送にとても時間が掛かり、道路は寸断され、高速道路もストップしていたため海や空からの搬送も行われたそうです。また、災害時に電話や FAX が繋がらず血液製剤の発注ができないということもあったそうです。血液センターではインターネットを使用した発注システムも行っており、参加者の皆様に登録を呼びかけておられました。

最後に森田会長から広臨技の対応についてお話がありました。広臨技では、会員の被害状況の把握や、被災された会員への共催金の支給、DVT 検診などが行われました。

近年、異常気象も多く、いつまたこのような大きな災害が起こるかわかりません。今回の経験をきっかけに災害に対する意識を高め、災害が起きた時にしっかり対応できるよう準備していかなければならないと思いました。

学会終了後は懇親会会場へ移動し、桑田理事の開会の挨拶で懇親会がスタートしました。今年は東部地区学会が開催されて 20 回の節目の年ということで、会の最中にこれまでに東部地区で行われた学会や新入会員オリエンテーションなどの写真がスクリーンで上映されました。中にはとても懐かしい写真もあり、職場の先輩方の若かりし姿など、なかなか見ることのできないものも拝見することができ、東部地区の活動の歴史を感じることができました。写真を見ながら懐かしまれたり、話の話題になったりしていてとても良い企画となったのではないかと思いました。

そのほかにも参加者の皆様の名前をランダムに使ってのビンゴゲームやじゃんけん大会などあり、あっという間に楽しい時間が過ぎて行きました。

今回の東部地区学会では 150 人を超える参加があり、過去最高の参加人数で会を開催することができました。参加された会員、賛助会員の皆様や講師の先生方、ご協力ありがとうございました。また、東部地区理事をはじめ運営に携わってくださった地区委員や学術部門員の皆様、お疲れ様でした。

（広報部　錦織）

第 20 回 東広島市健康福祉まつり　レポート

11 月 4 日、東広島市健康福祉センターで行われた「第 20 回 東広島市健康福祉まつり」に技師会も参加するとのことで、取材に行ってきた。この健康福祉まつりは、地域のさまざまなボランティア団体、医療機関、企業などと地域住民の交流を図り、地域のつながりを深めることを目的として、東広島市社会福祉協議会が主催しているイベントである。技師会のほかにも、東広島市の健康・福祉・医療にかかわる多くの団体が参加しており、にぎわいを見せていた。
会場は複数のエリアに分けられており、健康にかかわる体験や相談ができる健康ゾーン、車いすや点字の体験ができる福祉体験ゾーン、陶芸体験や日頃の活動を紹介する展示・活動紹介ゾーン、さらに屋外には屋台が並ぶフードコーナーやフリーマーケットなどもあった。
検査技師会がブースを出したのは健康ゾーン。医師会のドクターと連携した肺機能測定がメインの出し物となる。肺機能検査をしたあと、その結果をすぐにドクターに見てもらえるというシステムだ。この試みは去年から行われている。知識が無いと少々理解しづらい検査結果をすぐに解説してもらえるとあって、参加者からは非常に喜ばれているようだった。会場一番奥のスペースではあったが、ひっきりなしに体験希望者がおとずれた。
今回行った肺機能の検査は、病院以外では、なかなか経験することのない検査である。そのため初めて体験する人がかなり多かったようで、スタッフの技師は「初めての人にいかにわかりやすく説明し、タイミングをつかんで検査を受けてもらうのか……日頃の経験が生きる場だと思います。」とコメントしてくれた。日頃の業務に比べて検査未経験の人が多いため、いつも以上に丁寧に説明するよう心がけているという。実際に話を聞かせていただいた来場客も、肺機能検査は初めての経験だったそうだ。「呼吸のタイミングをつかむのが少し難しかったですが、スタッフの説明がとても分かりやすかったのでリラックスして検査を受けられた。3 回もさせていただいて、とても楽しかったです。」とうれしい声を聞くことができた。
検査技師は医師や看護師に比べるとあまり知られていない職業かもしれない。どちらかというと縁の下の力持ち、といった存在だろう。この健康福祉まつりを通して、そんな検査技師という仕事を多くの人に知ってもらえたのではないかと思う。「このイベントを入り口にして検査を受けるメリットを理解し、検査を受けることに対するハードルを下げてもらうことができれば病気の早期発見につながると思う。」とスタッフの技師は話す。
東広島地区の医療を担う者として、このような地域の輪に入っていくことで、地域住民の健康維持に貢献することができたのではないだろうか。

（広報部　糸谷祥子）

検査と健康展　レポート

平成 30 年 11 月 10 日（土）、「検査と健康展」が廿日市のゆめタウンで行われました。
このイベントは、生活習慣病の早期発見、定期的な健康診断の重要性を啓発するとともに、臨床検査についての理解を深めていただくことを目的としています。

午前 11 時から開始され、会場には早々と受検者の方々が検査の順番を待たれていました。
今回の検査項目は、血管年齢（CAVI 検査）、血管機能（HemoSurveU）、肺年齢（肺機能検査）、骨年齢（骨密度測定）、糖尿病検査（簡易血糖検査）、認知症スクリーニング（物忘れ相談プログラム）、無料健康相談、更に今年は広島にも大きな災害をもたらした、西日本豪雨被害による長期避難所生活で問題となった深部静脈血栓症 DVT スクリーニング検査も行われました。

会場のそれぞれの検査を周ってみると、「健康には気を付けて生活しているつもりなのに、血管年齢がこんなに高いなんて…」と驚かれている方、「病院にはかかっているが気になることが多く、この機会にいろいろ質問してみたい」と、医師による健康相談コーナーに向かわれる方もいらっしゃいました。

さらにお子様向けコーナーでは、寒天の中に小銭や果物を入れ、超音波で当てるというコーナーも開催されました。実際の画像を見て、お子様もとてもビックリした表情でプローブを握りしめており、お子様のご家族の方々も、「こういう風に見えてるんですね！白黒で病気が分かるなんてすごい！」と言っていただきました。また、顕微鏡体験コーナーでは初めて使う顕微鏡に「何もみえない！」と眼幅値を合わせるのに一生懸命のお子様も見受けられとても賑やかなコーナーとなりました。

今回、ボランティア数 臨床検査技師 58 名、医師 2 名、メーカーの方々、多くのボランティアの方々と合同で検査と健康展を行わせていただきました。詳細な件数は、血管年齢（CAVI 検査） 188 件、血管機能（HemoSurveU）85 件、肺年齢（肺機能検査）137 件、骨年齢（骨密度測定）181 件、糖尿病検査（簡易血糖検査）153 件、認知症スクリーニング（物忘れ相談プログラム）56 件、無料健康相談 37 件、顕微鏡体験コーナー 60 件、超音波体験コーナー 43 件、DVT 検診体験コーナー 25 件、アンケート配布数 218 件、という結果になりました。

全体を通し、1 番件数が多かった検査は血管年齢（CAVI 検査）の検査で 188 人もの受検者の方々が検査を受けに来られました。中には全ての検査を受けられた方もおられました。これを機に臨床検査技師という職業や、臨床検査についての知識、健康について考える時間がもてたのではないかと思います。

ご協力いただきましたスタッフの皆様、関係各位の方々に心よりお礼申し上げます。

（広報部　土橋）

会員各位

呉地区理事　柴田　淳

第 44 回　呉地区七夕学会のご案内（延期分）

7 月の西日本豪雨災害により延期となっておりました標記学会につきまして、下記のとおり日時を変更し開催いたしますのでご案内いたします。皆さま多数ご参加くださいますようお願いします。

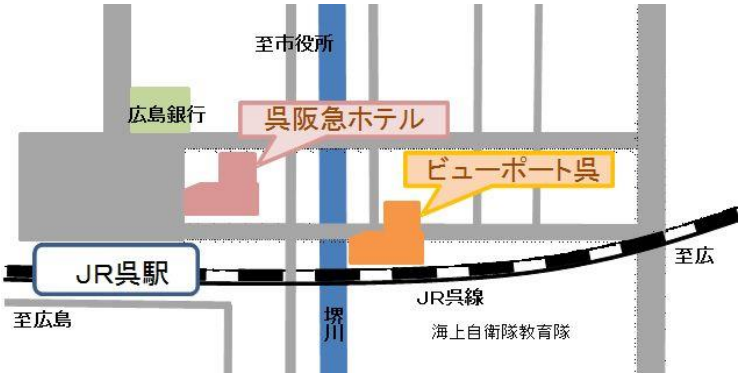
記

以上

【開催日時】
平成 30 年 12 月 22 日（土）13:30 ～ 17:30
※ 受付 13：00～

【会　　場】
ビューポートくれ　3 階大ホール
呉市中通 1-1-2

【開　会】
13：00～開場　　13：30～開会挨拶



【プログラム】

13:40～14:40　一般演題　6 題
①「AST における細菌検査室の役割」　奥田　立子（済生会広島病院）
②「当検査センターで医療機関の院内感染を発見した一症例」
山本　望（呉医師会臨床検査センター）
③「高アンモニア血症を呈した Corynebacterium urealyticus による
尿路感染症の一例」　藤村　利佳（呉共済病院）
④「呼気 NO 検査における飲食物の影響について」松﨑　侑実（中国労災病院）
⑤「当院における関節液検査の現状」　河野　雄一（済生会呉病院）
⑥「尿細胞診標本作製方法の違いによる細胞像の比較検討」
菅　亜里紗（呉医療センター）

14:50～15:35　活動報告
『広臨技の西日本豪雨災害対応 ～呉地区における活動報告～ 』
森田　益子　会長（一般社団法人 広島県臨床検査技師会）

15:45～16:35　特別公演Ⅰ
『日臨技・短期海外留学に参加して ～広島から世界へ！ 英語力ゼロからの挑戦～ 』
小林　剛　技師（呉共済病院　病理診断科）

16:40～17:30　特別公演Ⅱ
『あなたは好かれる人？それとも嫌われる人？』
金本　實　技師（三次地区医師会臨床検査センター）

【懇 親 会】
18:15～20:15　呉阪急ホテル　4 階『皇城』にて
※ 別紙申し込み案内をご参照ください

【第 44 回呉地区七夕学会（延期分）懇親会申し込みについて】

懇親会参加ご希望の方は必要事項をご記入の上、E メールまたは FAX にてお申込み下さい。

■日　時：2018 年 12 月 22 日（土）18：15～20：15

■会　場：呉阪急ホテル 4 階　『皇城（ｵｳｼﾞｮｳ）』

■会　費：5,000 円（※学会受付時に徴収いたします）

■申込締切り：2018 年 12 月 10 日（月）　先着 100 名まで

■参加申込先：呉共済病院検査部　佐々木　彩　まで

【Email】a-sasaki@kure-kyosai.jp

【FAX】0823-22-2216

件名：七夕学会懇親会参加申込

担当：佐々木　彩

. . . . . .

第 44 回呉地区七夕学会（延期分）懇親会参加申込書

参加施設名 _____

会員番号	氏　名	会員番号	氏　名

平成３１年新春祝賀会の開催について（ご案内）

平素は、当会活動にご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、当会では会員および賛助会員の皆様と役員一同が、情報交換をするとともに親しく交流できる場をと考え、恒例の新春祝賀会を予定しております。
つきましては、下記のとおり開催いたしますので、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

■日　　時　　平成 31 年 1 月 12 日　（土）　18 時 00 分～20 時 30 分

■場　　所　　オリエンタルホテル広島　4F　ホールルーム

広島市中区田中町 6-10　【TEL】082-240-5111

■会　　費　　10､000 円　（当日受付にて支払）

■申込方法　　下記申込書にご記入の上１２月２０日（木）までに FAX にてお申し込みください。

■申 込 先　　一般社団法人広島県臨床検査技師会　事務所　　FAX　082-502-6031

＊申込書を受取り次第、当方より受付確認を FAX にて返信し受け付け完了とさせていただきます。FAX 送信後１週間以内に受け付け確認の FAX が届かない場合は、恐れ入りますが、電話にて広臨技事務所までお問い合わせください。(TEL　082-502-6011)

以上

平成３１年新春祝賀会出席申込書

＊施設会員の方は施設ごとにとりまとめてお申し込みください

施設名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先　**電話番号**（　　）＿＿＿＿＿＿＿＿

FAX 番号　（　　）＿＿＿＿＿＿＿＿

＊FAX 番号を必ず記入してください

会員番号	お名前	役職（役職の記入にご協力お願いします）

第 36 回広島県医学検査学会（第 5 報）

【開催日】平成 31 年 2 月 23 日（土）～24 日（日）
【場　所】グランラセーレ東広島
　　住所：〒739-0024　広島県東広島市西条町御薗宇 6950-2

【組織調査部事業】
●集まれ広臨技！
「検体検査の精度確保について」
講師　滝野　寿　先生　　一般社団法人日本臨床衛生検査技師会　専務理事
日程　2019 年 2 月 23 日（土）14：00～15：00

【学会内容】
●メインテーマ：“災害に強い医療を目指して　～がんばるけん　広島県～”

●シンポジウム
テーマ　「広島豪雨災害時における活動」
○「広島 JRAT の立場から」
　天野　純子　先生（医療法人ハートフル理事長）
○「日赤救護班の立場から」
　有馬　準一　先生（広島赤十字・原爆病院副院長）
○「看護師の立場から」
　選定中
○「臨床検査技師の立場から」
　水野　誠士　技師（JA 広島総合病院）

●一般演題　12 題

●ランチョンセミナー
1．栄研化学　　：　「肝線維化マーカーとしてのオートタキシンの可能性」
2．シスメックス　：　「　未定　」

●市民公開講座　Ⅰ
「災害時における避難の方法　～普段からの心掛け～」
講師　　中川　浩　先生　　東広島市　総務部危機管理課　防災担当参事

●市民公開講座　Ⅱ
「　未定　」
講師　藤原　章正　先生　　広島大学大学院　国際協力研究科　教授
　　防災・減災研究センター　調査研究部門長
　　広島大学平成 30 年 7 月豪雨災害調査団　副団長

＜一般演題＞

部門	演題名	発表者	施設名
血液	凝固反応曲線によるフィブリノゲン濃度の推定	亀谷　真実	独立行政法人　労働者健康安全機構 中国労災病院　中央検査部
	全自動血液凝固測定装置 CS-5100 における高速遠心処理を用いた乳び検体測定の検討	柳瀬　奈都美	地方独立行政法人　広島市立病院機構 広島市立広島市民病院　臨床検査部
微生物	県内における薬剤耐性菌に関するアンケート調査報告	辻　隆弘	庄原赤十字病院　検査技術課 （広島県臨床検査技師会臨床微生物部門）
	菌種ごとの発育菌量の比較	新見　菜摘	一般社団法人　広島市医師会臨床検査センター　微生物係
	災害後における環境水からのレジオネラ菌の検出	広政　翔太	広島国際大学
生理	広島野球障害検診における超音波検査の役割	中川　花須美	総合管理部門（チーム医療） 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立舟入市民病院　検査科
	経側頭部アプローチが有用であった頭蓋内内頸動脈閉塞の一例	松田　浩明	公立学校共済組合　中国中央病院 臨床検査科
	当院で経験した男性乳癌の２症例	宮尾　麻美	本永病院
	小児胆嚢捻転症の１例	谷保　香織	独立行政法人　国立病院機構 東広島医療センター
総合管理	当院での医療安全における臨床検査技師の役割　～急変時対応シミュレーションの取り組み～	江村　利抄	社会医療法人千秋会　井野口病院 臨床検査科
病理	小細胞癌との鑑別を要した小細胞型扁平上皮癌の１例	栗部　知代	独立行政法人　労働者健康安全機構 中国労災病院　中央検査部病理
	エラスチカワンギーソン染色におけるセレスチン青色素を用いた核染色性の検討	笠原　愛梨沙	山陽女子短期大学

速報原稿の送付、広報部へのご意見等をお願いします。

広報部連絡・専用 E-Mail　＜　koho@hiroringi.or.jp　＞

モバイル端末からのメール送信も可能です。

（次号速報の原稿〆切は１２月１０日です）

＜第 36 回広島県医学検査学会　懇親会申し込みについて＞

懇親会参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX またはメールにてお申込みください。

日時：2019 年 2 月 23 日（土）　18:00～20:00
会場：グランラセーレ東広島　2F　平安
会費：5,000 円（※　学会受付時に徴収いたします）
申込締切り：2018 年 2 月 8 日（金）
参加申込先：FAX：082-422-6190
　　Mail：motonaga-kensa@basil.ocn.ne.jp
　　本永病院　検査課　入口　千春　（TEL：082-423-2666）

第 36 回広島県医学検査学会　懇親会参加申込書

参加施設名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

会員番号	氏名	会員番号	氏名